

史上最大の食と農の危機!



# 「食料の安全保障を考える 福岡県民ネットワーク」発足!!

いま、我が国の食料安全保障を脅かす諸外国との通商協定が矢継ぎ早に発効されています。昨年末にはTPP11が発効、今年2月には日欧EPA協定が発効され、さらに今年4月には我々がもっとも懸念する日米2国間貿易交渉が開始されるという報道がなされています。

これらの通商協定がもたらす過度な市場開放は、国民の食と農や暮らし・いのちを脅かす史上最大の危機であるとともに、これまで我々が守り抜いてきた、食の安全の崩壊へ繋がりかねません。この未曾有の危機が差し迫るなか、このたびJAグループ福岡は、志を同じくする各団体・組織・消費者との連携のもと「食料の安全保障を考える福岡県民ネットワーク」を立ち上げるに至りました。

今後、同ネットワーク組織のもとに農業者や消費者が結集し、あらためて我が国の食料を考えるための学習活動などを徹底して実施します。これにより、国民合意の一大運動を形成し、貿易交渉はもとより国内政策等に意思を反映してまいります。

**いま立ち上がらなければ、福岡の農業の明日はない!! 食の安全も崩壊する!!**

このネットワークの活動の輪を広げ、1人でも多くの団体・個人に賛同いただくよう働きかけを進めてまいります。

持続可能なくらし・農業、“ふるさと福岡”の実現

 JAグループ 福岡



国民全体のための産業「農業」を、  
いま、国民とともに考えるために。

福岡県民ネットワークの目指すもの

## 国民合意の一大運動を展開!!

### 活動内容

- ① 食料安全保障についての学習活動（学習会、シンポジウム等）の実施
- ② 食料自給率の向上にかかる諸々の取組みの支援
- ③ 食にかかわる県民意識の喚起に向けた広報活動等の実施
- ④ 情報の収集・伝達
- ⑤ その他ネットワークの目的達成に必要な事項



## 県民のくらしやいのちと未来、 そして美しい地域（故郷）を断固として守る!!

- 食の安全を通じて、すべての県民と子どもたちの健やかな暮らしを守る!
- 持続可能な農業を推進し、農業者及び農業関係者の安定した暮らしを守る!
- 農業の振興により、緑に恵まれた故郷・福岡の美しい自然環境を守る!



第1回



活動レポート

### 「国民の食と農やくらし、いのち」を考えるセミナー開催!

3月17日  (会場:福岡ビル9階大ホール)



第1回「国民の食と農やくらし、いのち」を考えるセミナー



ネットワーク活動の一環として開催したセミナーでは、冒頭、JA福岡中央会会長・倉重博文が、空前の危機が迫る我が国の農業の現状を訴えた上で、農業者や消費者が暮らしといのちを支える食料や農業を真に考える運動の立ち上げを表明しました。

続いて壇上では、東京大学大学院農学生命科学研究科教授の鈴木宣弘氏による基調講演「農業・食料ほんとうの話」を開講。アメリカ、EUなどの農業事情などを交えて、我が国の農業の現状と将来を分かりやすく解説。「自分たちの安全・安心な食といのちを守るために、強固なネットワークが必要」と訴え、多くの聴講者から賛同の拍手を集めました。

持続可能なくらし・農業、“ふるさと福岡”の実現

 JAグループ 福岡

事務局:農政地域対策部

〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神4丁目10-12  
TEL 092-711-3911 (平日9:00~17:00)

ネットワークへの加入申込みはこちらから

JAグループ福岡

検索